

エレベータージャーナル

ELEVATOR JOURNAL

No. 5

2015年4月発行

㊤ 一般社団法人日本エレベーター協会

CONTENTS

● 特集

北陸新幹線 金沢までの開通に伴う 各駅の昇降機設備

● クローズアップ

オンワードパークビルディング
KIRARITO GINZA
品川シーズンテラス
中国料理東天紅上野店
那覇空港新国際線旅客ターミナルビル
日本橋ダイヤビルディング
ミレニアム 三井ガーデンホテル 東京

● 海外物件紹介

Al Hamra Mixed-Use Complex

● 日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

一般社団法人日本エレベーター協会概要紹介
業務委員会活動紹介
技術委員会活動紹介
ISO/TC178WG4, 6専門委員会活動紹介
小荷物専用昇降機専門委員会活動紹介
東北支部活動紹介
関東支部活動紹介

● 行事紹介

「横浜消防出初式 2015」への出展
東京都主催「防災展 2015」への出展

● 編集後記

特集

北陸新幹線 金沢までの開通に伴う各駅の昇降機設備

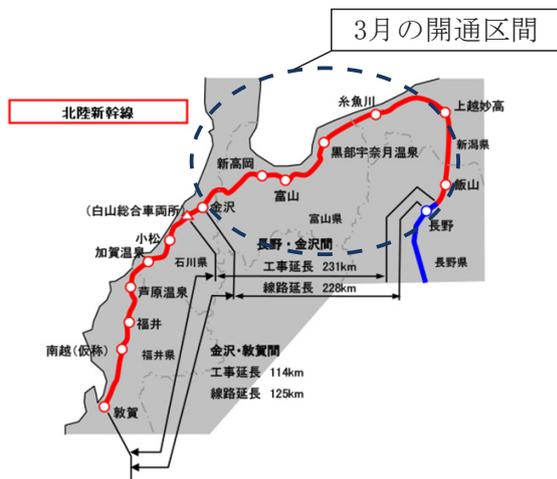
編集委員会

はじめに

2015年3月14日北陸新幹線が金沢まで開通しました。1998年の長野冬季オリンピックに合わせて1997年に長野新幹線という名称で長野まで開通後、18年ぶりの新区間開通です。

今回開通した長野から金沢まで228kmの区間では、7つの新しい新幹線停車駅が誕生しました。東京から金沢までの所要時間が約2時間30分となり、4時間近くかかっていた従来に比べて大きく短縮されます。沿線各地の観光や、ビジネスなどでの行き来が便利になると期待されています。

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構によって建設され、東京から上越妙高まではJR東日本、以西はJR西日本が営業主体となり運営されます。



北陸新幹線路線図(独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構より)

2023年までには敦賀まで、将来は大阪まで延線されます。緊急時には東海道新幹線のう回路としての役割も担う日本の大動脈となります。

1. 概要

新しい新幹線停車駅の駅舎は、それぞれ地元の特徴をあらわしたものになっており、新幹線にかかる各地の期

待と来訪者をおもてなしする気持ちを感じられます。各駅の特徴を簡単に紹介します。

(1) 飯山駅

雪化粧をした美しい雄大な山並みと、伝統文化の和紙の柔らかさを感じさせるデザインをテーマとしています。統一した白いルーバーと緩やかな曲線で外壁を構成し、飯山の伝統工芸品である和紙「内山紙(うちやまがみ)」を広げた状態をイメージしています。



「提供：鉄道・運輸機構」

(2) 上越妙高駅

雄大な自然や歴史、桜に彩られた街並み、豪雪にも対応した駅舎構造など、地域性に対応したデザインで上越をアピールする空間です。ガラス面には、高田公園の桜吹雪や高田平野の雪原をイメージさせる模様をプリントし、桜色のパネルは風に舞う桜の花びらを表現しています。



「提供：鉄道・運輸機構」

特集

(3) 糸魚川駅

日本海側の停車駅(平成27年春 開業区間)の中では、海からの距離が最も短い駅です。駅舎のデザインは、「日本海と北アルプスに抱かれた、雄大な自然を感じさせる駅」をイメージし、日本海の波・北アルプスの山・地元特産の翡翠(ヒスイ)がデザインされています。



「提供：鉄道・運輸機構」

(4) 黒部宇奈月温泉駅

駅舎デザインは、「豊富な水を湛える黒部の自然が映り込んだ駅」をイメージし、黒部の自然(風や水、雲の流れ、立山の山並み等)を軽やかなウェーブラインで表現しています。



「提供：鉄道・運輸機構」

(5) 富山駅

駅から見る立山連峰の雄大な景色が、観光客を迎えてくれます。JR西日本のほか、富山地方鉄道線やライトレール(ポートラム)への乗換駅となっています。

また、外壁は立山連峰の雪景色をイメージしたデザインが施されています。伝統工芸である和紙をガラスにはめ込んだ装飾が施されています。



「提供：鉄道・運輸機構」

(6) 新高岡駅

高岡市は、銅器・アルミ産業が盛んであるため、駅柱に鋳物地肌の装飾を施してあり、壁面には銅板を発色加工した装飾となっています。

観光では国宝である瑞龍寺があるほか、高岡大仙・高岡御車山祭など歴史と伝統を感じる町です。

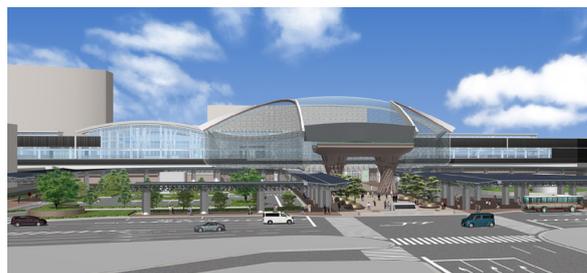


「提供：鉄道・運輸機構」

(7) 金沢駅

駅正面には「もてなしドーム」と呼ばれた、ゆるやかで優美な曲面屋根を設け、金沢の街を流れる浅野川と犀川を表現するとともに、開放的な大きな壁面で街への視界を確保しています。

また、外壁は伝統工芸の金沢漆器をイメージさせる黒色とし、落ち着いた中に神秘的で洗練された金沢らしさが表現されています。



「提供：鉄道・運輸機構」

2. 昇降機

期待の大きな新幹線とその駅舎にふさわしく、各駅の昇降機も工夫をこらしたものが設置されています。

エレベーターのうち2か所停止のものは、乗場ボタンを押してエレベーターを呼ぶとかご操作盤の行き先階が登録される自動登録式を採用しており、荷物の多いお客様にも利便性の高い仕様となっています。

エスカレーターは、お客様が近づくと運転を開始する停止待機型自動運転を採用し、省エネルギー仕様となっています。停止して待機しているエスカレーターの運転方向を分かりやすくするため、床や上部に進行方向を大きく示す工夫をしています。

降雪の多い駅のエスカレーターでは、乗降口のくしはアルミ製とし、熱線を通して凍結防止を図るなどの寒冷地仕様が採用されています。

また、子供や高齢者に配慮して、エスカレーターの速度を遅く設定している駅もあります。

特集

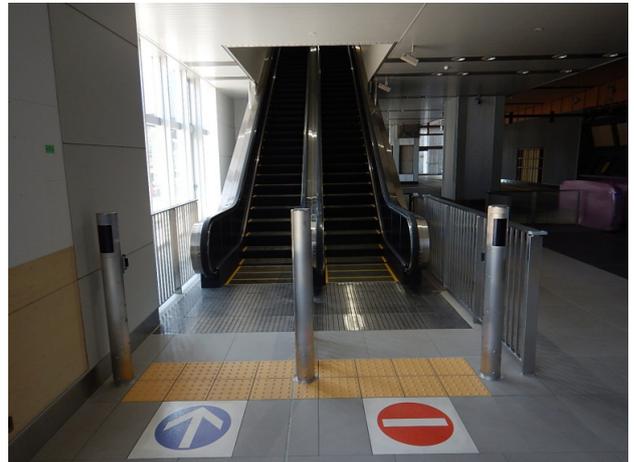
(1) 飯山駅



(3) 糸魚川駅



(4) 黒部宇奈月温泉駅



(2) 上越妙高駅



(5) 富山駅



特集



(6) 新高岡駅

(7) 金沢駅



北陸新幹線昇降機一覧

エレベーター仕様 (計 19 台)

	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
飯山駅	1, 2	乗用	インバーター	乗合全自動方式	750	11	45	2	2 (コンコース, ホーム)	東芝	車いす仕様、2方向出入口、側面展望窓付き
	3	〃	〃	〃	750	11	45	1	3 (1, 交流ホール, コンコース)		〃
上越妙高駅	1, 2	〃	〃	〃	750	11	45	2	2 (コンコース, ホーム)	東芝	〃
糸魚川駅	1, 2	〃	〃	〃	750	11	45	2	2 (改札, ホーム)	三菱	〃
黒部宇奈月温泉駅	1, 2	〃	〃	〃	750	11	45	2	2 (改札, ホーム)	三菱	〃
富山駅	1, 2	〃	〃	〃	1000	15	45	2	3 (改札, 2, ホーム)	日立	車いす仕様、2方向出入口
	3	人荷用	〃	〃	900	13	45	1	3 (1, 2, ホーム)		2方向出入口
	4	〃	〃	〃	900	13	45	1	2 (1, ホーム)		〃
新高岡駅	1, 2	乗用	〃	〃	750	11	45	2	2 (改札, ホーム)	日立	車いす仕様、2方向出入口
金沢駅	1, 2	〃	〃	〃	1000	15	45	2	3 (改札, 2, ホーム)	日立	〃
	3, 4	人荷用	〃	〃	850	13	45	2	2 (改札, ホーム)		2方向出入口

エスカレーター仕様 (計 30 台)

	号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
飯山駅	1, 2, 3, 4	S1000	ステンレスパネル	30	改札-ホーム	8448	4	東芝	水平3枚ステップ仕様、自動運転
上越妙高駅	1, 2, 3, 4	〃	〃	30	改札-ホーム	7228	4	東芝	〃
糸魚川駅	1, 2, 3, 4	〃	〃	25	改札-ホーム	9565	4	三菱	〃
黒部宇奈月温泉駅	1, 2, 3, 4	〃	〃	25	改札-ホーム	13180	4	三菱	〃
富山駅	1, 2, 3, 4	〃	〃	24	改札-ホーム	12076	4	日立	〃
新高岡駅	1, 2, 3, 4	〃	〃	24	改札-ホーム	10817	4	日立	〃
金沢駅	1, 2	〃	透明ガラス	24	改札-2階	3170	2	日立	〃
	3, 4, 5, 6	〃	ステンレスパネル	24	2階-ホーム	5710	4		〃

クローズアップ



建物 外 観

オンワードパークビルディング

尾 崎 拓 也

(Takuya Ozaki)

東芝エレベーター株式会社

神奈川支社 建設部

1. はじめに

新本社社屋は、旧本社（1958年竣工）を建替え、オンワードホールディングスの本社機能をもつ新たなオフィスビルに生まれ変わりました。

外装デザインには、「纏う」をキーワードに、外装材に波打つドレープウォールとアルミルーバーを縦糸と横糸に見立てて生地が編み込まれたようなデザインを採用し、アパレルメーカーをイメージした外観となっています。

建物は、基礎免震構造と制震梁を採用した高い耐震性となっています。さらに、72時間対応の非常用発電機によるBCP対応や、太陽光発電システム採用などによる建物の省エネルギー化を図っています。

2. 建物概要

所在地：東京都中央区日本橋三丁目10番5号

建築主：株式会社 オンワードホールディングス

設計監理：【デザイン監修】株式会社 日建設計

【設計】大成建設株式会社

施工：大成建設株式会社

建物用途：事務所

敷地面積：1,765㎡

建築面積：1,060㎡

延床面積：18,500㎡

構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

階床数：地下2階、地上17階、塔屋1階

建屋高、軒高：73.6m, 71.9m

工期：2012年11月15日～2014年10月31日

竣工日：2014年11月

開業日：2014年11月25日

3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーターが8台（テナント用4台、本社用2台、高層用1台、施設用1台）が設置されています。

エレベーターは、テナント用、本社用ともに基本的なデザインが統一されており、乗場意匠はカラーステンレスバイブレーション仕上げ、鋼板塗装仕上げ（全ツヤ）のシンプルな仕上がりとなっています。

かご室意匠は、ドア・幕板には鋼板塗装仕上げ（全ツヤ）、袖壁にはステンレスバイブレーション仕上げ、側面壁には鋼板化粧シート貼りとなった仕様の組み合わせとなっていますが、シックな色目を採用しているため、落ち着いた仕上がりとなっています。

本社用エレベーターには役員専用運転を採用しており、役員の方々の利便性と、目的フロアまでのスムーズなサービスを提供しています。

クローズアップ



テナント用エレベーター ホール



本社用エレベーター ホール



施設用エレベーター ホール



本社用エレベーター かご内

エレベーター仕様 (計 8 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
テナント用	1・2	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1150	17	105	2	11(1,3 ~ 12)	東芝	
	3・4	〃	〃	〃	1150	17	105	2	13(B1,1 ~ 12)		1台車いす仕様
本社用	5・6	〃	〃	群乗合全自動方式	1150	17	180	2	8(B1,1,2,12 ~ 16)		〃
高層用	7	〃	〃	乗合全自動方式	1150	17	120	1	18(B2,B1,1 ~ 16)		兼非常用, 車いす仕様
施設用	8	〃	〃	〃	1350	20	45	1	3(B1,1,2)		車いす仕様

クローズアップ



建物外観

KIRARITO GINZA (キラリト ギンザ)

岡本 憲士

(Kenji Okamoto)

フジテック株式会社

首都圏統括本部 営業推進部

敷地面積：1,323.21㎡
 延床面積：16,582.48㎡
 構造：S造（一部RC造）
 階床数：地下3階 地上12階
 軒高：55.40m
 工期：2012年9月～2014年10月
 開業日：2014年10月30日

1. はじめに

JR東日本東京駅八重洲口から京橋オフィス街を通り抜けて、銀座通りを目指して行くと首都高速東京道路橋上からオフィス街の現代的建物とは対照的に、ひとときわ輝く外観の建物がそびえ立っているのが見えてきます。この建物が、銀座一丁目に完成した「KIRARITO GINZA（キラリトギンザ）」です。

建物は世界に名だたる街「銀座」の賑わいと、新たな開発により刷新し続けるトレンドの街を象徴する華やかな佇まいを持っています。

キラキラと輝く外観はダイヤモンドのブリリアンカットをモチーフにデザインされています。地上12階建ての建物の屋上には広々と堂々とした緑地が広がり、4階のオープンテラスに植えられた木立は、銀座界隈の賑わいに新しい緑風を与えてくれるだけでなく、銀座通りを往來している人々に開放感と安らぎを提供しています。

2. 建物概要

所在地：東京都中央区銀座一丁目8番19号

キラリトギンザ

建築主：合同会社 ジーケージョン

デザイン監修：光井純アンドアソシエーツ建築設計事務所

設計・監理：浅井謙建築研究所株式会社

施工者：鹿島建設株式会社

建築用途：店舗

3. 昇降機設備

エレベーター5台、エスカレーター18台の計23台が設置されています。

R階と12階への専用サービスとして設置された展望用エレベーターのかご内には車摺りとして4段のステンレスバイブレーションフラットバーを床面高さ200mmまで設置しています。かご内の背面から見える景色を広く大きく確保し、明るく開放的な空間を創り出しています。

各階店舗用に設置された乗用エレベーターのかご天井は、エレベーターホールの壁と同様に本物の葉を使用したデザインとなっています。ちりばめられた葉を光が透過し、葉脈が鮮明に映え輝いている様子はとても幻想的です。葉が自然な配置になるまでガラス面に何度も大量の葉を散りばめ、試行を繰り返し完成に至っています。

また、乗場ボタンとインジケーターはサインと一体型となっています。インジケーター表示の光源が消灯時には目立たないようにするため、ガラスに遮光フィルムや乳白フィルム等、何枚も重ね合わせることで、点灯時消灯時ともに最適な明るさになるように工夫され、サインとのダイナミックな融合を実現した意匠となっています。

エスカレーターは店舗スペースを有効に利用できるように勾配35度を採用しています。足元にはスカートガード照明を設置し視認性を高めるとともに、外装底部の間接照明とのコントラストが店内の移動空間にいろどりを与えています。

クローズアップ



展望用エレベーター乗場



展望用エレベーターかご



店舗用エレベーター乗場



店舗用エレベーターかご



店舗用エレベーター乗場ボタン・インジケーター



エスカレーター

エレベーター仕様 (計 5 台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	1	乗用	インバーター	群乗合全自動方式	1600	24	105	1	13 (B2, B1, 1, 4 ~ 12, R)	フジテック	展望用・車いす仕様
	2	〃	〃	〃	1600	24	105	1	11 (1, 4 ~ 12, R)		展望用
2	3	〃	〃	〃	1600	24	105	1	11 (B1, 1 ~ 10)		車いす仕様
	4	〃	〃	〃	1600	24	105	1	14 (B2, B1, 1 ~ 12)		兼非常用
3	5	〃	〃	乗合全自動方式	1150	17	105	1	15 (B2, B1, 1 ~ 12, R)		

エスカレーター仕様 (計 18 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
1, 2	S600型	透明強化ガラス	30	B1-1	5050	2	フジテック	無人時微速運転・勾配35度・スカートガード照明
3, 4	〃	〃	30	1-2	5500	2		〃
5, 6	〃	〃	30	2-3	4800	2		〃
7, 8	〃	〃	30	3-4	4800	2		〃
9 ~ 18	〃	〃	30	4 ~ 9	4500	10		〃

クローズアップ



建物外観

品川シーズンテラス

家 城 貴 克

(Takayoshi Ieki)

株式会社 日立ビルシステム

システム技術本部 システム技術第一部

1. はじめに

品川シーズンテラスは東京都下水道局の芝浦水再生センター再構築の一環として、雨天時貯留施設の上部に建設された業務・商業ビルです。外構には約3.5haの広大な緑地が整備され、四季折々の風景が、この場所で働く人や訪れる人に潤いとやすらぎを与えてくれます。「品川シーズンテラス」という名称は、環境配慮型のオフィスビルとそのテラスとなる四季折々の表情を見せる広大な緑地とを表現しています。

建物はタワー棟（オフィス棟）とアネックス棟（商業棟）で構成されており、オフィスフロアは約4,970㎡（約1,503坪）と国内最大級の広さを有しています。

また、タワー棟中央に設けられたスカイボイド（外部吹抜け空間）からは自然光とさわやかな風が取り込まれ、明るい共用部と快適な室内環境を生み出しています。さらに涼しい外気を取り込むナイトページや、下水熱エネルギーを利用した効率的な空調設備などにより、快適性と省エネルギー性能の両立を実現し、CO₂排出量を効果的に削減します。

2. 建物概要

所在地：東京都港区港南一丁目2番6（地番）

建築主：エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社

大成建設株式会社

ヒューリック株式会社

東京都市開発株式会社

東京都下水道局

設計・監理：株式会社 NTTファシリティーズ

大成建設株式会社

エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社

日本水工設計株式会社

施工：大成建設株式会社

建物用途：事務所、店舗、集会場、駐車場等

敷地面積：49,547.86㎡

延床面積：205,785.83㎡

構造：地下：鉄筋コンクリート造（免震構造）

地上：鉄骨造（柱CFT造）

階床数：地下1階、地上32階

建屋高、軒高：151.27m

工期：2012年2月～2015年2月

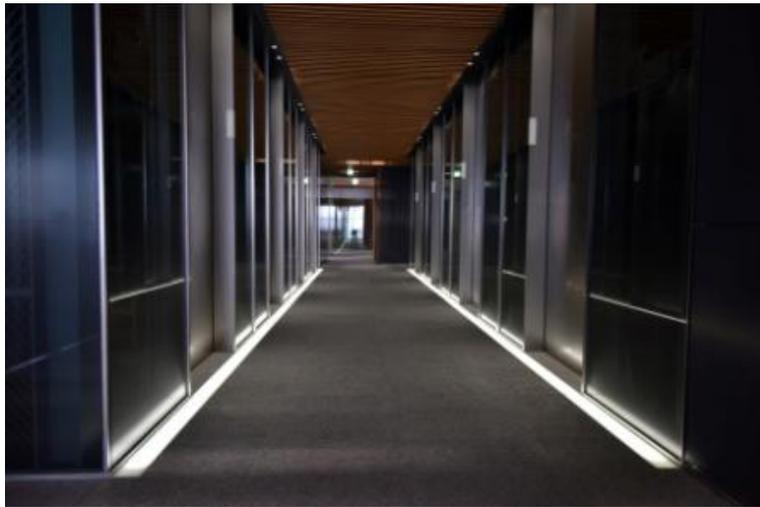
竣工日：2015年2月25日

3. 昇降機設備

昇降機はエレベーター39台、エスカレーターは10台が設置されています。オフィス用エレベーターは低層・中低層・中高層・高層の4バンクで構成され、各バンク8台ずつ設置されています。

3階のオフィスロビーのエレベーターホールは、幕板を天井のルーバー奥まで伸ばすことにより、天井との一体感を表現し、壁仕上げ材にガラスを用いることで開放的な空間を演出しています。エレベーターかご内は間接照明により室内を柔らかく照らし、全体を白色で仕上げることにより照明の明るさを拡散、清潔感漂う広々とした空間を作り出しています。操作盤には大型ボタンを採用し、シンプルな配置とすることでスッキリとしたデザインにしています。

クローズアップ



A～Dバンク オフィス用エレベーター
3階 オフィス階ロビー



A～Dバンク オフィス用エレベーター
かご内



A～Dバンク オフィス用エレベーター
基準階 オフィス階ロビー



A～Dバンク オフィス用エレベーター
かご内操作盤

エレベーター仕様 (計 39 台)

棟	バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考	
タワー	低層	A-1～A-8	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1850	28	120	8	9(3,5～12)	三菱	車いす仕様(1号機)	
	中低層	B-1～B-8	"	"	"	1850	28	150	8	9(3,12～19)		"	
	中高層	C-1～C-8	"	"	"	1850	28	240	8	9(3,19～26)		"	
	高層	D-1～D-8	"	"	"	1850	28	240	8	7(3,26～31)		"	
	北側	NE-1	人荷用	"	"	群乗合全自動方式	2500	26	150	1	32(1～32)	日立	兼非常用
		NE-2					1150	17	150	1	32(1～32)		"
	南側	SE-1	"	"	"	"	2500	26	150	1	31(1～31)		"
		SE-2					1150	17	150	1	31(1～31)		"
ショップ	L-1,2	乗用	"	"	900	13	60	2	3(正面:1, 背面:2,3)	三菱	車いす仕様		
アネックス	ショップ	L-3	"	"	乗合全自動方式	1350	20	60	1		4(1～4)	"	

エスカレーター仕様 (計 10 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高(揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
ESC.1～3	S1000	透明ガラス	30	1-2	5200	3	オーチス	無人時微速運転付
ESC.4～6	S1000	"	30	2-3	5000	3		"
ESC.7,8	S600	"	30	2-3	5000	2		勾配35度, 無人時微速運転付
ESC.9,10	S600	"	30	2-3	5000	2		"

クローズアップ



建物外観

中国料理東天紅上野店 (TOH-TEN-KOH Ueno)

三村 聡子

(Satoko Mimura)

株式会社 日立ビルシステム

システム技術本部 システム技術部第一部

1. はじめに

文化芸術の街、上野。東天紅の歴史が始まった地に新上野店が、2015年春オープンしました。新上野店では、より一層の安心・安全性を実現する制震構造を採用し、バリアフリー法に基づく認定を取得、来店される様々な年代の方に等しく快適な空間を提供しています。また、上野恩賜公園を借景し都心にありながら四季の移ろいを感じられ、周辺の環境に調和した施設となっています。

建物は、地上9階建てで、低層階には駐車場と最大500名まで利用できる大宴会場、中層階には中小宴会場と3フロアからなるブライダルゾーン、最上階には中国料理と日本料理のそれぞれのダイニングが配置されています。この他チャペル、カフェも併設しており、様々なシーンに応じて会場を選択できる、複合飲食施設です。

2. 建物概要

所在地：東京都台東区池之端一丁目4番35号

建築主：株式会社 東天紅

設計・監理：鹿島建設株式会社

施工：鹿島建設株式会社

建物用途：集会場・飲食店舗・駐車場

敷地面積：1,659.04㎡

延床面積：13,889.55㎡

構造：地下SRC、地上S CFT構造
階床数：地下1階、地上9階、塔屋1階
軒高：43.890m
建物高さ：44.690m（最高高さ 49.250m）
工期：着工 2013年10月15日
竣工日：2015年1月31日
開業日：2015年2月26日

3. 昇降機設備

エントランスから各階へとつながるエレベーターの内装は、落ち着いた木調の壁仕上げとしています。天井は、間接照明構造で、箔貼りをイメージした意匠を採用しています。

ウエディング用エレベーターのかご内は、鏡面パイプレーション仕上げ材を採用することで、奥行きのある幻想的な意匠としています。

小荷物専用昇降機のかご及び出し入れ戸間口は、大皿料理を運搬することが出来るよう1400mmの特殊サイズであり、計5台が設置されています。

外部に設けたエスカレーターは、高齢者の利用が多く見込まれることから、床プレートへLED誘導灯やフットライトなどを設け、利用者への安全な誘導を図っています。

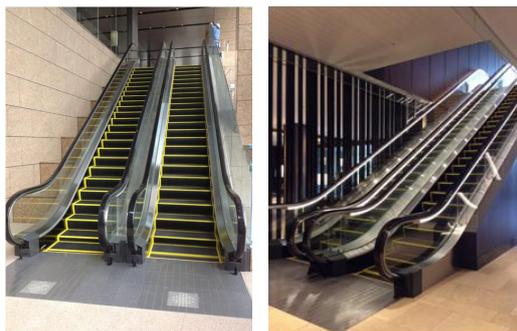
クローズアップ



EV1,2号機エレベーターかご室



エントランス階乗場



左：屋外エスカレーター、右：屋内エスカレーター



ウエディング用
エレベーター乗場



小荷物専用昇降機

エレベーター仕様 (計6台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
EV1	乗用	インバーター	群乗合全自動方式	1600	24	105	1	8 (2~9)	日立	車いす仕様
EV2										ウエディング用
EV3	"	"	乗合全自動方式	900	13	90	1	4 (2,6~8)		兼非常用
EV4	人荷用	"	"	2000	30	105	1	11 (B1, 1~9, R)		
EV5	"	"	"	2100	26	105	1	10 (B1, 1~9)		
EV6	乗用	"	"	900	13	45	1	1, 2		

エスカレーター仕様 (計4台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
ESC1・2	S1000	透明ガラス	20-30	1-2	4680	2	日立	屋外用
ESC3・4	S1000	"	20-30	2-3	5300	2		

小荷物専用昇降機仕様 (計5台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー
DW1	フロア型	インバーター	各階操作方式	200	45	1	6 (3~6, 8, 9)	日立
DW2, 3	テーブル型	"	"	50	45	2	5 (3~6, 8)	
DW4, 5	"	"	"	150	45	2	6 (3~6, 8, 9)	

クローズアップ

那覇空港新国際線旅客ターミナルビル



建物外観

赤嶺 あやの

(Ayano Akamine)

沖縄菱電ビルシステム株式会社
昇降機営業部 営業技術課

1. はじめに

21世紀の「万国津梁」の実現を目標に掲げ、既存施設の約3.6倍の面積となる那覇空港新国際線旅客ターミナルビルが2014年1月に完成しました。沖縄経済のリーディング産業として躍進する沖縄観光において、那覇空港は、世界への架け橋となる日本の空の玄関として大きく貢献することが期待されています。

新しいターミナルビルは「強い陽射し」と「青い海と空」をテーマとした沖縄らしさが感じられるデザインとなっています。外観デザインは、隣接する国内線ターミナルビルとの一体感に配慮し、大きな曲面屋根と琉球石灰岩をリズム良く貼った壁面で構成。内部は、プレキャスト・プレストレスト・コンクリート造の採用により、柱のない開放的な大空間を実現し、チェックインカウンターの天蓋軒先には琉球赤瓦をあしらった沖縄らしさの演出を行っています。

2. 建物概要

所在地：沖縄県那覇市鏡水150番地
 建築主：那覇空港ビルディング株式会社
 設計・監理：梓・安井・宮平・設計共同企業体
 施工：國場・大成・仲本・特定建設工事共同企業体
 建物用途：空港旅客ターミナルビル
 敷地面積：3,269,735㎡
 建築面積：10,099㎡
 延床面積：23,922㎡
 構造：ターミナル棟・RC (PCaPC) 造、固定橋・S造

階床数：地上4階

建屋高、軒高：24.84m

工期：2012年6月～2014年1月

竣工日：2014年1月

3. 昇降機設備

昇降機設備は、乗用エレベーター8台の他、サービス用エレベーター3台・エスカレーター12台が設置されています。

全ての乗用エレベーターは、乗場壁面に琉球石灰岩貼り、乗場戸のエッチングデザインに琉球絛柄を採用し、沖縄らしさを演出した空間で、ターミナルに訪れるたくさんのお客様をお迎えています。ホールランタンは、ステンレス鏡面仕上げの三方枠に組込まれており、一体感のある洗練されたデザインになっています。

かご室は、分割なしのガラスクロス天井、壁はステンレスパイブレーション仕上げ、背面部分にフルハイト鏡、扉には大型窓が設けられ、清潔感あふれる明るい室内となっています。また、南国沖縄の暑さ対策としてエアコンが備えられ、快適な空間を作り出しています。

エスカレーター設備は、建物中央部に位置する6台のエスカレーターに無人時低速運転制御、足元のスカートガードにLED照明を採用し、省エネルギー性と安全性を向上させています。

また、音声案内放送は日本語・英語・韓国語・中国語の4か国語放送に対応し、海外の観光客にも配慮した仕様となっています。

クローズアップ



1.2号機エレベーターホール



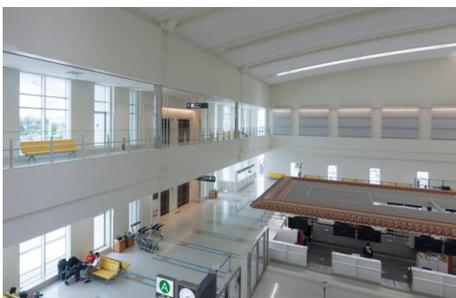
ホールランタン



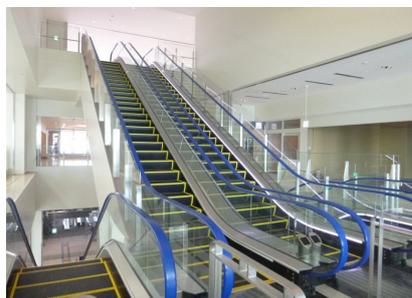
1.2号機エレベーター
かご内 1



1.2号機エレベーター
かご内 2



チェックインカウンターの大空間と
天蓋軒先の琉球赤瓦



建物中央部分のエスカレーター



到着ホールのエスカレーター

エレベーター仕様 (計 11 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1, 2	乗用	インバーター	群乗合全自動方式	2000	30	60	2	3 (1 ~ 3)	三菱	車いす仕様
3	〃	〃	乗合全自動方式	1000	15	60	1	4 (1 ~ 4)		〃
4	人荷用	〃	〃	1800	27	60	1	4 (1 ~ 4)		〃
4'	荷物用	〃	単式自動方式	1000	-	60	1	2 (正面: 1 背面: 2)		2方向出入口
5	乗用	〃	乗合全自動方式	1000	15	60	1	3 (正面: 1 ~ 3 背面: 1 ~ 2)		車いす仕様、 2方向出入口
6	〃	〃	〃	1000	15	60	1	2 (正面: 1 背面: 3)		〃
7	人荷用	〃	〃	1750	26	60	1	4 (1 ~ 4)		車いす仕様
8	乗用	〃	〃	1000	15	60	1	2 (2, 4)		〃
9	〃	〃	〃	1000	15	60	1	2 (正面: 2 背面: 3)		車いす仕様、 2方向出入口
10	〃	〃	〃	1000	15	60	1	2 (正面: 2 背面: 3)		〃

エスカレーター仕様 (計 12 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
1, 2	1000形	透明ガラスパネル	30	1-2	6000	2	日立	無人時微速運転: ポールレス
3, 4	〃	〃	30	2-3	6000	2		〃
5, 6	〃	〃	30	3-4	5250	2		〃
7	〃	〃	30	1-2	6190	1		自動運転: ポール式
8	〃	〃	30	2-3	6190	1		〃
9	〃	〃	30	3-4	6000	1		〃
10	〃	〃	30	1-3	12000	1		〃
11	〃	〃	30	2-3	7200	1		〃
12	〃	〃	30	2-3	7200	1		〃

クローズアップ



日本橋ダイヤビルディング

泉 田 亮

(Akira Izumida)

三菱電機エンジニアリング株式会社

昇降機技術部

建 物 外 観

1. はじめに

三菱倉庫株式会社の旧社屋「江戸橋倉庫ビル」がリニューアルされ、防災・環境配慮型オフィスビル「日本橋ダイヤビルディング」として2014年9月3日に竣工しました。

昭和5年12月に竣工し、東京都選定歴史的建造物に選定された旧社屋の外観を既存建物のある地上6階まで残り、高層棟を増築しています。

安全・安心、業務継続性を第一に考え、中間階免震構造、建物内排水循環システム、非常用発電機などの災害対策機器を備えています。また、建築物の環境性能を評価する「建築環境総合性能評価システム（CASBEE）」で最高ランクのSランクを取得しています。

8階から17階までの高層部はテナントオフィス、2階から6階までの低層部は三菱倉庫株式会社のオフィス及びトランクルームとなっています。1階のエントランスホールには日本橋界隈の変遷や倉庫業の歴史を展示、加えて日本橋川の河畔には親水空間を配置し、共に公開スペースとすることで地域に貢献しています。

2. 建物概要

所在地：東京都中央区日本橋一丁目19番1号

建築主：三菱倉庫株式会社

設計・監理：株式会社 三菱地所設計

株式会社 竹中工務店

施工：株式会社 竹中工務店

建物用途：事務所、倉庫

敷地面積：2,886.98㎡

建築面積：2,518.00㎡

延床面積：30,029.44㎡

構造：既存RC、地下・低層(新築部)SRC、高層S、
中間階免震

階床数：地下1階、地上18階、塔屋1階

建屋高、軒高：89.281m

工期：2011年10月～2014年9月

竣工日：2014年9月

3. 昇降機設備

昇降機設備は10台のエレベーターが設置されており、高層用はテナントオフィス用、低層用は三菱倉庫株式会社のオフィス及びトランクルーム用となっています。

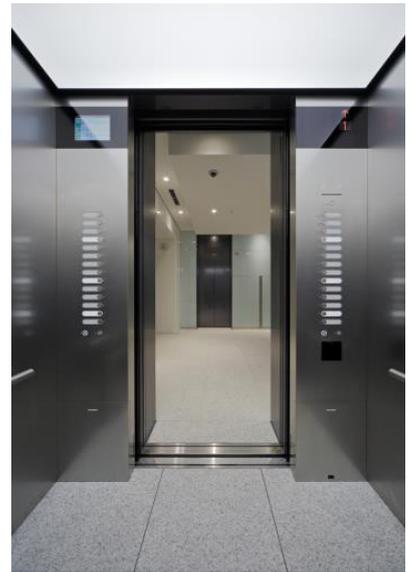
7台の高層用には中間階免震構造対応エレベーターが採用されています。そのうち非常用エレベーターにおいては、建物の層間変位量に追従する機構をもつ可動乗場三方枠が設置されています。

かご意匠は、低層用・高層用ともに、壁のコーナー部分やボタンなどが丸みを帯びた温もりのあるデザインに統一されています。低層用のかご内壁面には、シルク印刷仕上げにより旧社屋の外観が描かれています。また、低層用の乗場ボタン・乗場位置表示器に、旧社屋で使用されていた昭和初期デザインのプレートが流用されており、当時のモダンアートな造形が歴史的建造物の面影を後世に伝えています。

クローズアップ



高層用エレベーターホール



高層用エレベーターかご内



低層用エレベーターホール



低層用エレベーター
乗場位置表示機



低層用エレベーター
乗場ボタン

エレベーター仕様 (計 10 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
EV1-6	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1300	20	180	6	14 (1-3, 6, 8-17)	三菱	中間階免震対応 EV-3車いす仕様
EV7	"	"	乗合全自動方式	1300	20	90	1	4 (1-3, 6)		車いす仕様
EV8	"	"	"	2000	30	120	1	19 (B1, 1-18)		中間階免震対応 兼非常用
EV9	荷物用	"	"	3500	-	45	1	3 (1, 5, 6)	横浜エレベータ	
EV10	乗用	"	"	1000	15	90	1	4 (1, 2, 5, 6)	三菱	車いす仕様

クローズアップ



建物外観

ミレニアム 三井ガーデンホテル 東京

村上 哲也

(Tetsuya Murakami)

フジテック株式会社

首都圏統括本部 東ジョブ統括部

延床面積：13,323.21㎡

構造：S造（一部RC造）

階床数：地下1階 地上14階

軒高：55.92m

工期：2012年9月～2014年10月

開業日：2014年12月17日

1. はじめに

歌舞伎座に代表される日本文化の伝統と、西洋文化の先進性が融合してできた街、「銀座」に「ミレニアム三井ガーデンホテル 東京」が誕生しました。

銀座4丁目交差点至近に位置し、周辺は高級ブランド店や飲食店が立ち並ぶ日本屈指の繁華街であり、東京観光の拠点としても最適なロケーションにあります。

外観には、伝統的な「織（おり）」のモチーフを取り入れ、「銀座」の中心地においても存在感を放つランドマーク性のある建物となっています。

2014年12月17日にオープンし、国内外幅広くお客様から選んでいただけるホテルとなっています。

2. 建物概要

所在地：東京都中央区銀座五丁目11番1号

建築主：Hong Leong Ginza 特定目的会社

設計・監理：鹿島建設株式会社

施工者：鹿島建設株式会社

建築用途：ホテル

敷地面積：1,169.86㎡

3. 昇降機設備

エレベーターは乗用3台、非常用1台が設置されています。

天井高さ4.8mの開放感ある1階ロビーに面して設置されたお客様用エレベーターの乗場はブラックステンレス鏡面仕上げが採用されています。幕板が天井まで伸び、乗場ボタンのプレートも同材質で天井まで伸びてロビーとの調和をとっています。

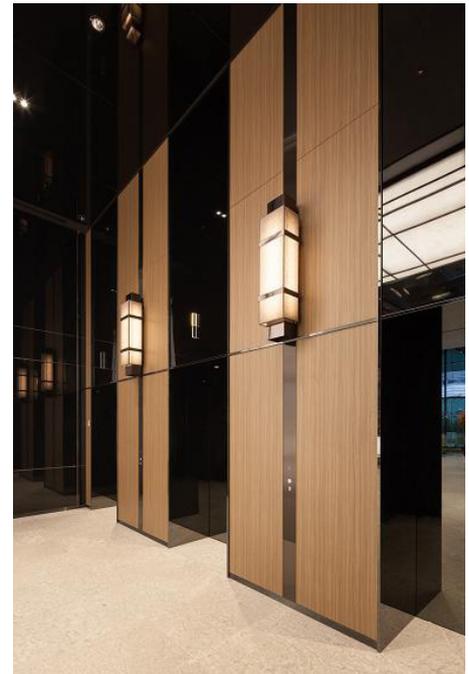
かご内も乗場のイメージを受け継ぎ、ブラックステンレス鏡面仕上げで囲われています。側面パネルはロビーに採用されているグラフィックシートと同じ柄でデザインされ、天井はルーバーと間接照明を組み合わせるグラフィックシートに光を当てる演出が施されています。

また、お客様用エレベーター3台全てのかご内にはカードキーリーダーが設置され、ルームキーをかざすことにより客室に行けるルームキー連動ご呼び登録機能を設け、セキュリティー性を高めると共に、バリアフリー対応として車いす仕様となっているので、ホテルを訪れるお客様に安心してご利用いただける快適な移動空間を提供しています。

クローズアップ



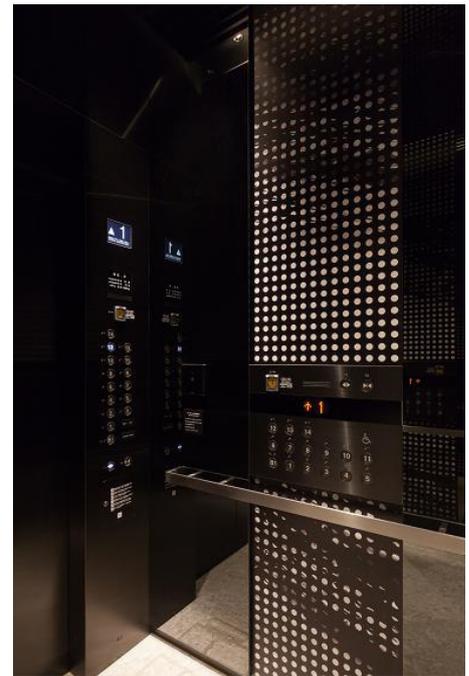
ロビー



エレベーターホール1



エレベーターホール2



エレベーターかご内

エレベーター仕様 (計4台)

バンク	号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
1	1	乗 用	インバーター	全自動群管理方式	1000	15	120	1	15(B1,1~14)	フジテック	車いす仕様
	2	〃	〃	〃	1000	15	120	1	15(B1,1~14)		〃
	3	〃	〃	〃	1000	15	120	1	15(B1,1~14)		〃
2	4	〃	〃	乗合全自動式	1150	17	120	1	16(B1,1~14, R)		兼非常用

海外物件紹介

Al Hamra Mixed-Use Complex

菊池 康男

(Yasuo Kikuchi)

株式会社 日立ビルシステム
生産統括本部 エレベーター設計部

はじめに

「Al Hamra Mixed-Use Complex」は、クウェート国の大手デベロッパーであるAJIAL Real Estate and Entertainment Co.によって計画された、大規模複合ビルです。

この複合ビルはクウェート市の中心部に位置し、地上77階、地下3階建てのオフィスタワーと、低層部分が商業施設で構成されています。オフィスタワーは2011年に竣工し、高さ412.6mのクウェート国最高層のビルで、中東地域で4番目の高さを誇る建物です。またこの建物は、設計をSkidmore Owings and Merrill LLP (USA)、AL JAZERA Consultants (Kuwait)、建築をAHMADIAH Constructing & Trading Co. (Kuwait)が担当し、建築における数々の賞を受賞しています。

昇降機設備

「Al Hamra Mixed-Use Complex」には、エレベーター39台、エスカレーター8台、合計47台の昇降機が納入されています。

このうち4台は分速600m、積載3,000kg（40人乗り）、昇降行程247mの高層スカイロビー行きのシャトル用エレベーターとして納入されています。また、このほか分速300m以上の超高速エレベーターが13台納入されており、ビル内の重要な交通手段として利用されています。

分速600mのエレベーターには、次の2つの技術が採用されています。

一つ目はエレベーターの高速運転時の揺れを抑制し快適な乗り心地を実現するために、『アクティブガイド装置』が設置されています。この装置は、エレベーター走行時の振動を検出し、この振動を抑制する方向にガイドローラーの押付け力を制御することで、通常のガイド装置と比較して、更に乗り心地を向上させるものです。

二つ目は「和差電流制御」と呼ばれるインバーター制御方式です。これは、インバーター2台を並列接続（セットパラレル化）してモーターを駆動する方法で、インバーター制御回路を2ブロックで構成し、2つのインバーター電流を全デジタル回路により「和電流」と「差電流」に分離して制御演算しインバーター駆動を行うものです。この制御方式を採用したことにより、滑らかなモーター制御と損失の少ないインバーター制御を実現しています。この二つの技術により快適な乗り心地を実現しています。

また、超高層ビル対応として強風管制運転システムが採用されています。この強風管制運転システムは、強風時のビルの横揺れによる、ロープなど長尺物の振れの発生、増幅、収束に至るまでの過程と振れ量をリアルタイムに予測演算し、予測された振れの大きさを4段階で判定して、低速運転や最寄階停止といった管制運転を行います。長尺物が昇降路内の機器にひっかかったり接触したりすることによる損傷を低減するほか、管制運転によるサービス停止時間を最小限に抑えることで、より効率的な運転を行うことを可能としています。

これらの最先端技術を採用したエレベーターにより、ビル内の快適な移動手段として役立っています。

海外物件紹介

エレベーター仕様 (39 台)

号機	用途	運転方式	台数	積載 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	停止階床数 (サービス階)	備考
HS1 ~ HS4	乗用	全自動群管理方式	4	3,000	40	600	2 (G, 55)	展望階 シャトル
MS1 ~ MS4	"	"	4	3,000	40	480	2 (G, 30)	展望階 シャトル
VIP1 ~ VIP3	"	"	3	1,275	17	420	66 (B2, G, 6 ~ 26, 30 ~ 51, 55 ~ 75)	VIP用
PL1 ~ PL4	"	"	4	1,600	21	210	12 (G, 6 ~ 16)	
PL5 ~ PL8	"	"	4	1,600	21	300	12 (G, 16 ~ 26)	
PL9 ~ PL12	"	"	4	1,600	21	150	13 (30 ~ 42)	
PL13 ~ PL16	"	"	4	1,600	21	210	10 (30, 42 ~ 51)	
PL17 ~ PL20	"	"	4	1,600	21	150	11 (55 ~ 65)	
PL21 ~ PL24	"	"	4	1,600	21	210	13 (55, 65 ~ 75, 78)	
S1	人荷用	乗合全自動方式	1	2,500	-	360	75 (B2, B1, G, MZ, 1 ~ 4, 6 ~ 27, 29 ~ 51, 54 ~ 75)	
S2	"	"	1	4,000	-	360	76 (B2, B1, G, MZ, 1 ~ 4, 6 ~ 27, 29 ~ 51, 54 ~ 76)	
P3	乗用	"	1	1,275	17	105	4 (G, MZ, 2, 3)	機械室レス
P4	"	"	1	1,275	17	105	7 (B3, B2, B1, G, MZ, 2, 3)	機械室レス

エスカレーター仕様 (8 台)

号機	型式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (mm)	台数
ES1	S1000	透明ガラス	30	G - MZ	5,950	1
ES2	S1000	"	30	G - MZ	5,950	1
ES3	S1000	"	30	B1 - G	3,850	1
ES4	S1000	"	30	B1 - G	3,850	1
ES5	S1000	"	30	G - MZ	5,950	1
ES6	S1000	"	30	G - MZ	5,950	1
ES7	S1000	"	30	MZ - 1	5,400	1
ES8	S1000	"	30	MZ - 1	5,400	1

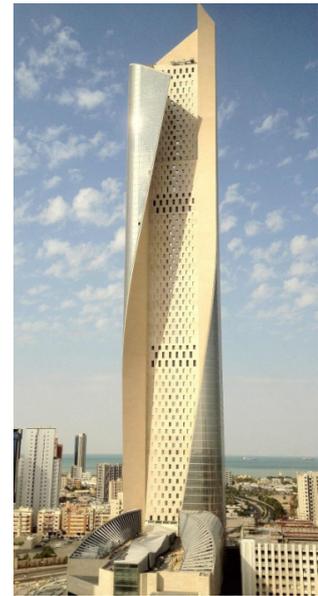
海外物件紹介



PL 1~PL 8号機
G階エレベーター乗場
(エントランス側)



AL HAMRA 外観 (西側)



AL HAMRA 外観 (南側)



PL 1~PL 8号機G階エレベーター乗場
(商業施設側)



PL 1~PL 8号機G階エレベーター乗場



展望階行きシャトルエレベーター乗場



シャトルエレベーターかご内

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

一般社団法人日本エレベーター協会概要紹介

1. はじめに

一般社団法人日本エレベーター協会の活動について、広く皆様のご理解とご協力を頂くため、本誌では、各委員会、専門委員会、各支部の紹介記事を4回に分けて掲載していきます。

2. 協会のあゆみ

一般社団法人日本エレベーター協会は、昇降機が担う社会的使命と責任を果たすために設立された、日本国内の昇降機事業分野における業界団体です。

当協会は、昭和22年に結成された任意団体『エレベータ同業組合』が前身であり、昭和24年5月6日、東京都の認可によって『社団法人 エレベータ協会』が設立されました。その後、昇降機業界の目覚ましい発展と長足の技術進歩とが相まって、昭和36年に建築基準法施行令で昇降機に関する技術基準が制定されたことに伴い、旧建設省所轄の全国組織として『社団法人 日本エレベータ協会』と改称し、平成21年5月には設立60周年を迎えました。さらに、公益法人制度改革に沿って一般社団法人への移行申請を行い、平成24年4月1日に『一般社団法人日本エレベーター協会』と移行登記を行いました。

3. 主な活動目的

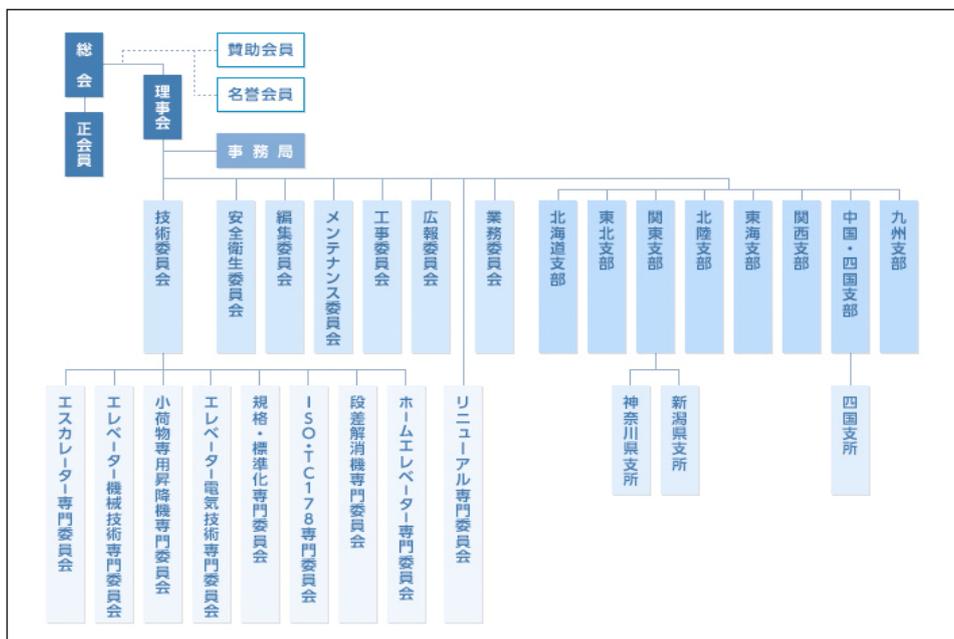
当協会の主な活動目的は、昇降機事業の健全な発展と、エレベーター、エスカレーターなどを利用される一般の方々の安全確保を第一に考え、関係官庁、関係諸団体のご指導・ご協力をいただきながら公共の福祉に寄与することであります。

昇降機は身体障害者や高齢者の方々にも広く利用され、公共的性格を帯びた縦の交通機関として市民生活に密着、社会的必需施設としての重要性が認識されています。当協会では、そうした社会情勢の変化を十分にふまえ、昇降機が社会的に果たす役割を的確に把握し、今後も、昇降機事業の健全な発展と、利用者の方々々の安全確保のために、さらに充実した活動の推進を図り、なお一層の努力をもって社会的使命を果たして行きたいと考えています。

4. 組織紹介

組織図に示しますように、正会員からなる総会が当協会の最高意思決定機関ですが、総会に付議すべき事項、総会の議決事項の執行、その他会務の執行に関する事項は、理事で構成される理事会によって議決されます。

また、各委員会は理事会の下部組織として、各々の実務業務を遂行しており、その業績は枚挙にいとまがありません。



一般社団法人日本エレベーター協会組織図

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

業務委員会活動紹介

1. 委員会の役割

昇降機事業に関する法令・法規等への対応検討及び当協会事業計画の実行支援等を行います。

2. 最近の活動内容

2.1 産業競争力強化法への対応

政府は、アベノミクスの第三の矢である「日本再興戦略」に盛り込まれた施策を確実に実行し、日本経済を再生し、産業競争力を強化する事を目的に、2014年1月20日に産業競争力強化法を施行しました。

昇降機もその対象となり、先端設備に該当し、かつ税法上の要件を満たせば「生産性向上設備投資促進税制」が適用され、設置者は税制優遇を受けられることが決まりました。

それに伴い、当協会は経済産業省から昇降機の証明書書団体である工業会に指定され、2014年7月22日より証明書発行依頼の受付を開始しました。

2.2 定例事業の開催

当委員会は、当協会が主催する定例事業の中で、若手技術者を対象とした昇降機基礎教育講座と、経営・管理層を対象とした社会・経済講演会を企画開催しています。

(1) 昇降機基礎教育講座

本講座は、毎年東京と大阪で開催しており、主に「協会活動」、「昇降機概論(歴史・構造・地震対策等)」、「昇降機に関する法律解説等」の内容として、毎回多くの若手技術者が受講しています。

2014年度は、東京で2014年11月26日、大阪で2014年11月28日に開催し、協会会員の若手技術者165名が受講しました。

当協会は、会員各社の昇降機の安全安心に向けた技術力向上を目指し、支援しております。

(2) 社会・経済講演会

本講演会は、毎年社会ニーズにマッチしたテーマを選択し、東京で開催しています。

最近では、「日本のグローバル化と中国」、「新政権

と日本経済」、「リスク・コンプライアンス事例を踏まえた最近の動向・傾向～」等を行いました。

2014年度は、2015年1月28日に、スポーツジャーナリスト青島健太氏を講師とし「組織を活かし、人を育てるマネージメント」のテーマで講演会を開催し、100名が受講しました。

講師のスポーツ指導者・監督を数多く取材した経験から、人の育て方、活力ある組織のつくり方について講演されました。特に、ソーシャルスタイル理論による行動スタイルや、組織の考え方は大いに参考になり、好評でした。



2014年度 基礎教育講座



2014年度 社会・経済講演会講師の青島健太氏



2014年度 社会・経済講演会

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

技術委員会活動紹介

1. 委員会概要

- (1)委員会名：技術委員会
- (2)参加会社：19社
- (3)活動計画：
 - ・世界標準を考慮したJIS制定活動
 - ・国際会議への参画推進
 - ・国土交通省、他業界との技術的な協議
 - ・JEAS制定の審議、承認 など

2. 活動内容紹介

- (1)主な会議開催日：1回／月（第2水曜日）
- (2)技術委員の全体集合写真



※当日都合により欠席された委員もあり、委員全員の集合写真となっていませんのでご了承ください。

(3)最近の活動内容・活動テーマ

技術委員会は、下部組織の委員会も含めて150名の委員で構成される当協会内の最大組織の委員会です。下部の組織の主な委員会は、ISO/TC 178/WG4・6専門委員会、エレベーター機械技術専門委員会、エレベーター電気技術専門委員会、規格・標準化専門委員会などがあり、更にその下部には特別委員会も擁しています。

技術委員会の活動は、活動計画で提示した規格制定関連が中心であり、JIS関連の委員会活動のほか、下部の委員会から提案されるJEAS(エレベーター協会標準)案の審議や承認、発表資料の技術的な査読などを行っています。

一方で、日常様々なところで発生する案件や、それに連動した官庁や自治体の要請に対して、対応方針や活動スケジュールを決定し、下部組織の委員会に検討を依頼又は新たに期限付きの委員会を立ち上げるなどして、技術的な問題に対処する役割を担っており、重要な活動要素となっています。

3. 活動実績紹介

2014年は、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震に対応した建築基準法施行令の改正及び関連告示に関連する「昇降機技術基準の解説2014版」の作成と発行に対し、主導的な役割を果たしました。地震に対しては更に、地震被害の調査や釣合おもり、長尺物に対する引掛り防止対策の検討を行って技術レポートに纏めました。又、2006年に発行された昇降機の検査標準JIS A4302に対し、その後発行された定期検査業務基準書との重複部分の削除等を中心に改訂を進めており現在その最終段階にあります。更に、昇降機規格の国際標準化を目指し、ISO国際会議への参加を支援すると共に、JIS化検討委員会によるISOのJIS化の検討にも主導的な立場で取り組んでいます。

4. 委員会のPR

本委員会は、技術的内容の議案に関して、理事会承認前の最終確認を行う委員会です。それだけに、その責任は重く、この委員会で審議しなければ議案は上程できません。これからも最終的な砦として、また良識の府として、その役割を果たしていきます。

5. その他

技術委員会の活動は、非常に多くの会員と会員会社皆様に支えられて運営できており、これからも昇降機の安全・安心に貢献してまいります。

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

ISO/TC 178WG4, 6専門委員会活動紹介

1. 委員会概要

- (1)委員会名：ISO/TC178WG4, 6専門委員会
- (2)参加会社：7社
- (3)活動計画：
 - ・ ISO/TC178WG4, 6の規格開発への参画
 - ・ ロープ式エレベーターのJIS制定推進
 - ・ ISO国内審議委員会の運営支援
 - ・ EN81-20/50改訂活動への参加 など

2. 活動内容紹介

- (1)主な会議開催日：2回／月（第2, 4木曜日）
- (2)ISO/TC178WG4, 6専門委員会の全体集合写真



※当日都合により欠席された委員もあり、委員全員の集合写真となっていませんのでご了承ください。

(3)最近の活動内容・活動テーマ

ISO/TC178WG4, 6専門委員会は、技術委員会傘下の専門委員会の1つです。また、ISOの昇降機に関する国際委員会であるISO/TC178の中のエレベーターの安全装置及び機械構造の規格を開発しているWGに対応した委員会です。日本代表メンバーとして国際会議に出席し、その活動に参画しています。

ISO/TC178WG4, 6専門委員会の主要な活動は、エレベーターに関する国内基準と国際規格との整合性を図り、JIS規格の作成を目指すことです。エレベーター機械技術専門委員会、エレベーター電気技術専門委員会と連携し、ロープ式エレベーター国際規格検討案の内容に対応

したJIS素案を検討しています。検討に当たっては、国際整合だけでなく、日本の基準を考慮した内容にすること併せて行っています。

また、JIS原案作成委員会の開催に向けての準備や欧州のロープ式エレベーター仕様規定（EN81-20/50）の改訂活動に参加し、日本の考えを提案していく等、活動範囲は多岐に亘ります。

3. 活動実績紹介

2014年10月には、南アフリカのプレトリアで開催されたISO/TC178総会、WG4、WG6国際会議に日本代表として出席し、国際規格検討案の開発ロードマップの審議を行いました。また、2015年1月には、東京で開催されたWG4の下部組織であるタスクフォース会議に参加し、日本に適用するための例外規定検討案を審議しました。

今後も、エレベーター規格の国際標準化を目指し、ISO国際会議へ参加すると共に、技術委員会、関連専門委員会と協力し、ISOのJIS化を検討していきます。

4. 委員会のPR

本委員会は、海外勤務経験者が多く、また異なった専門知識を持った人の集まりです。そのため、いろいろな角度の視点からの意見が出易い環境にあります。これからも、昇降機設備の国際標準化、JIS化のための活発な活動をしていきます。

5. その他

当委員会活動は、技術委員会をはじめ多くの関連委員会及び当協会事務局の協力、並びに会員及び会員会社の支援により成り立っております。皆様とともに昇降機業界の発展に寄与してまいります。

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

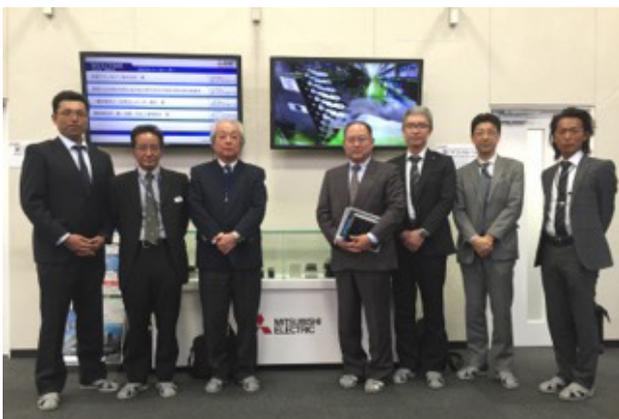
小荷物専用昇降機専門委員会活動紹介

1. 委員会概要

- (1)委員会名：小荷物専用昇降機専門委員会
- (2)参加会社：6社
- (3)活動計画：
 - ・小荷物専用昇降機の規格に関する検討
 - ・予防安全に主眼を置いたりリニューアル促進の検討
 - ・小荷物専用昇降機の定期検査全件実施に向けた活動など

2. 活動内容紹介

- (1)主な会議開催日：1回／月（第3週の木曜日）
- (2)小荷物専用昇降機専門委員の写真



2014年11月の研修会にて

(3)最近の活動内容・活動テーマ

小荷物専用昇降機専門委員会は、技術委員会の下部組織の専門委員会として小荷物専用昇降機に特化した活動をします。

活動テーマは、法的なものから機械技術、電気技術、工事、メンテナンスなど、関連するすべての分野に亘っています。

活動計画は市場の動向、法改正など環境の変化や事故情報を踏まえて決めています。技術委員会等の他の委員会から要請される案件や、官公庁からの要請への対応の検討も行なっています。

3. 活動実績紹介

2014年は、特定行政庁によって実施状況が異なっている小荷物専用昇降機の定期検査報告制度について、全件実施を目指すための課題の検討を行い、意見書の取りまとめをしました。

これは、人が乗らないものだからとの理由で適切な保守管理が行われていない一部の昇降機に最低限の安全性を確保することを目的としたものであり、是非とも実現するべく取り組んで参ります。

また、技術委員会の要請により、JIS A4302（昇降機の検査標準）の改訂検討作業に参画し、小荷物専用昇降機特有の項目を明確にしたものを提案しました。

さらに、作業者の安全を踏まえて、日本エレベーター協会標準JEAS-521（小荷物専用昇降機の構造に関する標準）の改訂をしました。

4. 委員会のPR

昇降機の中で唯一人が乗ることが認められていない小荷物専用昇降機は、エレベーターとは異なり建築基準法施行令に規定されている内容が少ないため、日本エレベーター協会標準として、自主的な基準を定めて安全、安心な製品やサービスの実現に貢献しています。

5. その他

小荷物専用昇降機の新規設置台数は1988年度を最大として年々減少してきているものの、それでも年間約3,000台が毎年設置されています。

今後も、安全な製品の供給、正しい使用方法の周知、適切な点検・検査の実施という基本を念頭に、委員会活動を継続して参ります。

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

東北支部活動紹介

1. 支部概要

- (1) 支部名：東北支部
- (2) 参加会社：12社
- (3) 活動計画：
 - ・ 地区行政・地区団体との連携
 - ・ エレベーターの日活動、安全周知活動
「安全、安心の周知」
 - ・ 地区消防との連携

2. 活動内容紹介

(1) 主な会議開催日：2回／年程度
 メンテナンス委員、技術委員連絡会議を開催し、支部長会議内容の伝達及び特定行政庁からの連絡事項等について周知を行なっています。

(2) 活動内容

東北支部は、宮城県仙台市を中心に東北6県に亘って、昇降機の安全、安心活動を主体に推進しています。

東日本旅客鉄道(株) 殿 (JR東日本) が主体となって実施された安全キャンペーンにおいては、仙台駅、盛岡駅、秋田駅でポケットティッシュを各4,000個配布しました。

「エレベーターの日」(11月10日)の活動においては、仙台市交通局殿の地下鉄線、仙台空港鉄道(株) 殿の空港アクセス線、JR東日本殿の東北本線(盛岡～一ノ関)の車内並びに仙台市交通局殿仙台駅構内及びJR東日本殿仙台駅構内において、当協会で作成した安全利用の周知ポスターを掲出させていただいております。

また、河北新報新聞へ安全利用の広告を掲載することによる、より一層の安全利用に向けた周知活動を行なっています。

東北地区の消防関係者へのエレベーター閉じ込め救出訓練に関しては、消防学校に設置されているエレベーターを活用し、2014年は消防隊員298人、これまでの2年間で、計589人に参加いただきました。



掲出中のポスター

3. 活動実績紹介

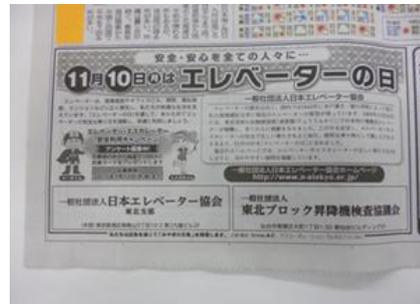
活動内容について、写真で紹介します。

(1) JR東日本殿安全キャンペーン



駅構内での安全活動

(2) 「エレベーターの日」の活動



河北新報への広告掲載



安全利用の周知ポスター車内吊り

4. 支部のPR

今後も東北支部では東北6県において安全、安心活動を推進して参ります。

昇降機の安全活動について、ご要望等がございましたら情報をお寄せください。

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

関東支部活動紹介

1. 支部概要

(1) 支部名

関東支部、
関東支部神奈川県支所、関東支部新潟県支所

(2) 参加会社

- ・ 関東支部：計53社
- ・ 神奈川県支所：計11社
- ・ 新潟県支所：計6社

(3) 活動計画（支部、支所共通）

- 1) 地区行政、地区団体（安全協議会等）との連携
- 2) 「エレベーターの日」活動、安全の周知活動
「安全、安心の周知」
- 3) 地区消防との連携

1) 支所技術委員会（1回／3ヶ月）

2) 関連協会との合同会議（2回／年）

一般財団法人神奈川県建築安全協会との合同会議

(2) 活動状況の写真紹介



「神奈川県消防学校」エレベーター
教育訓練状況（2014年10月22日）

2. 活動内容紹介

2.1 関東支部

(1) 主な会議開催日

当支部技術委員会開催（1回/3ヶ月）

(2) 最近の活動内容

1) 11月10日「エレベーターの日」の活動

広範囲の安全周知活動をめざして、京成電鉄株式会社、北総電鉄株式会社等の車内に当協会の作成したポスターを中吊り広告として、11月7日から11月9日まで掲出しました。

2) 関東支部参加会社の昇降機安全周知活動では、当協会で作成した。エレベーター・エスカレーターの安全利用リーフレット等の鉄道利用者等への配布を成田駅他で、合計3回実施しました。

3) 閉じ込めの救出訓練

関東地区の消防関係者へのエレベーター閉じ込めの救出訓練は、関東支部参加会社の施設を活用して、2014年は合計266名の消防隊員に参加いただきました。

(3) 制定した基準

関東支部管轄に関係する規則を3件作成して、運用しています。

2.2 神奈川県支所

(1) 主な会議開催日



「エレベーターの日」横浜駅西口街頭
キャンペーン（2014年11月10日）

(3) 最近の活動内容

2015年1月11日（日）に横浜赤レンガ倉庫及び赤レンガパーク（横浜市中区新港1-1）にて「横浜消防出初式2015」が開催されました。

今年のテーマ「集い 学び 楽しめる 安全安心フェスティバル」に基づき、災害時のエレベーター利用についての周知するために、当協会に出展依頼があり、本部事務局と当支所とで対応しました。

当日は大勢の来場者があり（主催者側発表75,000

日本エレベーター協会委員会及び支部の紹介

人)、当協会のブースにも多数の方が訪れ、リーフレット及びポケットティッシュの配布を行うとともに、安全利用アニメーションの放映、地震時のエレベーター利用パネル、安全装置等を見学していただきました。



出初式会場入口とブースの状況

(4) 作成した資料

当支所の内部資料として、支所と関連する神奈川県下の他の協会と共同で、会員向けの講習会用資料を作成しました。

2.3 新潟県支所

(1) 主な会議の開催日：

新潟県支所技術委員会 (1回/3ヶ月)

(2) 最近の活動内容

11月10日の「エレベーターの日」においては、越後交通株式会社殿所有の路線バス378台の車内にポスターを中吊り広告として掲出し、安全周知活動を行いました。

消防隊へのエレベーター閉じ込め時の救出訓練を新潟県支所参加会社の施設を活用し、合計44名の消防隊員に参加いただきました。

3. 安全キャンペーンへ協賛・参画

2014年7月22日から8月31日までの間、鉄道各社等によって「みんなで手すりにつかまろう」安全キャンペーンが行われました。

当協会も安全、安心の周知活動の一環としてこのキャンペーンに協賛しており、このキャンペーンのポケットティッシュは当協会が提供し、配布しました。

当支部においては、本部と連携して、東日本旅客鉄道（JR東日本）殿が計画したポケット



安全キャンペーンポスター

ティッシュの配布日にJR東日本の社員とともに配布し、昇降機の安全周知活動を行いました。本活動はJR東日本の12駅で行なわれ、当支部からは延べ35名が参加し安全周知活動を行いました。

今後も当支部では鉄道各社等と連携した安全周知活動を積極的に行なっていきます。



ポケットティッシュ配布風景

行事紹介

「横浜消防出初式2015」への出展

「横浜消防出初式2015」が、横浜赤レンガ倉庫及び赤レンガパークで開催されました。当協会は、神奈川県支所及び本部事務局が中心となり、出展しました。

- (1) 全体のテーマ：「集い 学び 楽しめる 安全安心フェスティバル」
- (2) 日時：2015年1月11日（日） 午前11時から午後3時30分まで
- (3) 場所：横浜赤レンガ倉庫及び赤レンガパーク（横浜市中区新港1-1）
- (4) 当協会の展示内容
 - 1) 地震時のエレベーター利用、エレベーターの地震対策及び安全装置、戸開走行保護装置等のパネルを展示しました。
 - 2) リーフレット及びポケットティッシュ等配布
「もしもの地震に備えて知っておきたいエレベーターの安全知識」、「エレベーターの緊急時の連絡と対応方法について」等を袋詰めにして、約1,050余名に配布しました。
 - 3) 会場内モニターにて安全利用アニメーションを放映
当協会ホームページに掲載している、安全利用アニメーションを連続放映しました。



横浜赤レンガ倉庫



古式消防演技



林文子横浜市長の挨拶



横浜市消防局 ペーパークラフトコーナー



当協会ブースの様子



行事紹介

東京都主催「防災展2015」への出展

東京都主催の「防災展2015」が、東京国際フォーラムで開催されました。当協会は、広報委員会及び本部事務局が中心となり、出展しました。

- (1) 全体のテーマ及び展示内容：阪神・淡路大震災20年 そして未来へ備えよう
 家庭の災害対策や災害用伝言サービスなどの紹介、防災資機材の展示・体験、耐震診断・耐震補強等の相談コーナー、阪神・淡路大震災の写真・資料展示、東北（福島県）及び大島町の物産展、他
- (2) 日時：2015年2月27日（金） 12:00から18:00まで、2月28日（土） 10:00から16:00まで
- (3) 場所：東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内3-5-1）、ロビーギャラリー（地下1階）
- (4) 当協会の展示内容
 - 1) 地震時のエレベーター利用、エレベーターの地震対策、戸開走行保護装置等のパネルを展示しました。
 - 2) 防災クイズスタンプラリーに出題し、多数の方に回答いただきました。
 - 3) リーフレット及びポケットティッシュの配布
 「もしもの地震に備えて知っておきたいエレベーターの安全知識」、「エレベーター、エスカレーターの安全利用」、ポケットティッシュ、消せる蛍光ペンのセットを400セット、「エレベーターの緊急時の連絡と対応方法について」を200枚配布しました。
 - 4) ブース内で安全利用アニメーションを放映
 当協会ホームページに掲載している、エレベーター・エスカレーターの安全利用アニメーション（8本）を放映しました。



東京国際フォーラムロビーギャラリー



安全利用アニメーションを見ているお子様



防災クイズスタンプラリー参加者



当協会ブースの様子

11月10日は「エレベーターの日」

1890年（明治23年）11月10日、東京・浅草に完成した12階建ての展望塔「凌雲閣」に、日本初の電動式エレベーターが設置されました。日本エレベーター協会では、この11月10日を「エレベーターの日」と定め、昇降機の安全・安心な利用のためのキャンペーンを実施しています。



凌雲閣（りょううんかく）



ベータくん

エスカちゃん

編集後記

4月は新しい出会いの多い月です。このエレベータージャーナルをご覧になっている皆様の中にも、入社、異動などで新しい職場に来た人、迎えた人も多いと思います。新しい仲間と仕事を進めるために、最初にするのが自己紹介だと思います。

当協会の機関誌が「エレベータージャーナル」として電子書籍版になって1年が経ちました。当協会の機関誌として自己紹介の役割を担わなければと考えました。今回から1年にわたって、各支部、委員会、専門委員会の紹介を掲載します。当協会を支えている各支部、委員会、専門委員会がどのような仕事をしているのかを是非見ていただきたいと思います。

少しでも当協会を身近に感じていただければ編集委員一同嬉しく思います。
(笠原 記)

ELEVATOR JOURNAL 2015年4月発行 No.5

編集委員 ◎委員長 ○副委員長

◎山口 貴史	株式会社 日立ビルシステム
◎志賀 正己	三菱電機ビルテクノサービス株式会社
近藤 雄哉	フジテック株式会社
笠原 直紀	日本オーチス・エレベータ株式会社
榎 由佳	三菱電機株式会社
堀越 隆晴	東芝エレベータ株式会社
神代 裕克	横浜エレベータ株式会社

発行者 下秋元雄

発行所 一般社団法人日本エレベーター協会

〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2（第2九曜ビル）

TEL (03) 3407-6471 (代) FAX (03) 3407-2259

URL : <http://www.n-elekyo.or.jp>

㊦ 一般社団法人日本エレベーター協会